

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	NO.BV-3		調査位置											北緯	36° 41' 14.0000"								
発注機関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2008-11-27 ~ 2009-03-10										東経	140° 06' 07.0000"							
調査業者名				主任技師											現場代理人			コア鑑定者			ボーリング責任者		
孔口標高	145.51 m	角度			地盤勾配			使用機種											ハンマー	ポンプ			
総掘進長	8.32 m	角			地盤勾配			エンジン											ハンマー	ポンプ			

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位	標準貫入試験						原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日	
											深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量	深度					試験名および結果
(m)	(m)	(m)	(m)							測定月日	(m)	0	10	20	30	(cm)	(m)	(m)			
145.11	0.40	0.40		表土 (SF)	暗褐			上部10cm腐植土。ローム主体。土質乱れる。			1.15	3	4	5	12	30	12	1	(A)		
				固結粘土 (CC)	暗褐灰		中位	粘着弱く、全体に砂を混入し凝灰質を呈す。礫径2から20mmの亜円礫、風化礫、砂分少量混入。色調は暗褐灰主体で、不均一に暗褐、淡褐灰混じる。			1.45							1.45	1	(A)	
143.11	2.00	2.40		粘土混り砂礫 (GS-C)			中ぐらい	礫径2から30mm主体となる。礫種は亜円、風化礫(腐れ礫)主体となる。間隙は固結粘土分を多く含む粗粒砂にて充填。全体に粘着性がある。含水比は下位から中位。6.35m付近より含水比は高位。7.00m付近より含水比は中位から高位。		01/12 6.35	2.15	4	5	7	16	30	16	2	(A)	01/10	
											2.45							2.45	2	(A)	
											3.15	7	8	9	24	30	24	3	(A)		
											3.45							3.45	3	(A)	
											4.15	8	9	11	28	30	28	4	(A)		
											4.45							4.45	4	(A)	
											5.15	10	16	16	42	30	42	5	(A)		
											5.45							5.45	5	(A)	
											6.15	16	15	13	44	30	44	6	(A)		
											6.45							6.45	6	(A)	
											7.15	18	17	15	50	30	50	7	(A)		
											7.45							7.45	7	(A)	
											8.15	22	7		50	17	>50	8.15	8	(A)	
137.19	5.92	8.32									8.32							8.32	8	(A)	01/12